

題名「地獄のはなし」

和歌山県高野山高校より橋本校長先生をお迎えして

当寺には一心十界図という、心が織り成す迷いと悟りの世界を十種に分類して表現した絵があります。十界とは、地獄界・餓鬼界・畜生界・阿修羅界・人間界・天上界・声聞界・縁覚界・菩薩界・仏界のことで、地獄界から天上界までの六つの世界を凡夫の迷いの世界、その後の声聞界から仏界までの四つの世界を聖者の悟りの世界とし、これを合わせて六凡四聖といいます。一心十界図は、もともと平安時代中期の天台宗の僧侶・源信が書いた『往生要集』に基づき、極楽往生、すなわち現世から仏界（極楽）に生まれ変わるための方法を図解したものです。

この一心十界図は縦120cm×横180cmという大画面で、折に触れて活用したいと思いながら、設置場所が本堂の裏堂ということもあり、人目に触れる機会が少なく、額装ということも相まって持ち運びが容易でなく気を揉んでいたところ、昨年（令和6）に軸装へ仕立て替える有難い勝縁を得ることが出来ました。これを記念して、このたび客殿に図像を掲げ、講演会を開催いたします。

講師の先生は、和歌山県高野山高等学校より橋本真人校長をお迎えして、お子さま向けの「地獄のはなし」という題名でご講演を賜る予定です。教育現場の最前線で活躍中の橋本先生は私の恩師でもあり、2018年には当寺の法話会で、2019年には両部曼荼羅の開眼法会で御導師をお勤めいただくなど等、並々ならぬご尽力を仰いでおります。

今回は特に、小中高生など若い世代に聞いていただくことに期待を寄せておりますが、勿論、どなたさまでもご参加ください。堅苦しい内容ではありません。先生のお話は分かりやすく、面白く、そして何よりも慈愛に満ちたお言葉が、きっと心に染み入ることでしょう。

ひとりの人間が健全に育って行く過程には、体と心のバランスが大切だとされています。体は栄養と運動で育ちますが、心の成長は日々の生活環境が大きく影響してまいります。現代は物質文明の最高潮に発展した一方で、精神文化は音を立てて崩壊しつつあり、社会全体のモラルも低下傾向にあります。

本講演会は地獄のはなしというおどろおどろしい題名ですが、お話の目的は清浄な心の導き、傲慢な気持ちの抑制、他人を思いやる心、親や兄弟、そして自分自身の生命を大切にして有意義な人生を送るための励みとなることです。時代は転期を迎えております。人情深い人が多くなれば地域や人との繋がりも活性化し、誰もが笑顔で暮らせる明るい社会に繋がっていくのではないのでしょうか。時節柄、何かとご多用かと存じますが、万障繰り合わせの上、皆様のご来寺を是非お待ちいたしております。

最後に、講演会の開催にあたり、多大なご尽力をいただきました当寺檀信徒並びに関係者各位に厚く御礼申し上げ、ご挨拶といたします。

謹白

令和7年3月 勝福寺住職 江原 義空

世界中の人々が平和に暮らせますように

宗教法人 真言宗 御室派

徹林山 勝福寺

〒710-1201 岡山県総社市久代3438

電話 (0866) 96-0615

総社勝福寺

検索

開講25周年 勝福寺仏教講話 受講生様募集のお知らせ

令和7年度は「お釈迦さまのご生涯」(全10回ほど)

第1回目 6月7日(土)～翌年3月まで。

第2回目以降はホームページでご確認ください。

受講料1回200円 お問い合わせ・お申し込みは勝福寺まで。